

川崎市青少年育成連盟（川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団）

育連だより

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/index.html>

「成人の日を祝うつどい」開催される

平成15年1月13日（成人の日）、とどろきアリーナで、川崎市「成人の日を祝うつどい」が開催されました。

「成人の日を祝うつどい」には、毎年、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんが案内や受付、会場内外の整理などに協力しています。

記念式典での「新成人の声」では、午前の部に幸

区在住の高野明子さん（ガールスカウト）、午後の部には麻生区在住の水島一平さん（ボーイスカウト）が、新成人代表として、成人になった抱負を述べました。

また、二部のアトラクションでは、今、若者に人気急上昇のダンスユニットPanic Crewが登場し、会場を盛り上げました。

青少年育成連盟「神奈川県青少年育成功労者表彰（団体表彰）」受賞

青少年育成連盟が、神奈川県知事から永年にわたる青少年の健全育成活動を認められ、神奈川県青少年育成功労者表彰（団体表彰）を受賞しました。



平成14年度各賞受賞のお知らせ

青少年育成連盟所属団体の指導者の方々が、青少年の健全育成に貢献されたことに対して、次の各表彰を受賞されました。 50音順 敬称略

○神奈川県青少年育成功労者表彰（2名）

小池 安義（B・S） 吉井 勇（子会）

○神奈川県青少年活動推進者表彰（9名）

安達久二郎（子会） 岩地シゲ子（子会）
片岡 孝子（子会） 後藤美智子（海洋）
佐藤千鶴子（G・S） 鈴木 實（B・S）
長瀬 和徳（B・S） 橋本 広茂（B・S）
原橋 敏彦（子会）



○川崎市青少年健全育成功労者表彰（25名）

秋山 伸幸（子会） 浅野 清（子会）
伊東 義雄（子会） 稲本 彰秀（子会）
井上 康（子会） 今井 一一（子会）

岩永 葉子 (B・S)	浦嶋 詳一 (B・S)	濱田 秀孝 (子会)	藤江 知子 (G・S)
遠藤 久夫 (子会)	金子 正夫 (B・S)	藤原 文夫 (B・S)	牧野 郁子 (子会)
木村 弘子 (海洋)	河野 裕子 (子会)	松井 春樹 (子会)	丸山 量子 (子会)
小林 基男 (子会)	坂本理恵子 (G・S)	八尋 千栄 (G・S)	山本 潔 (子会)
中村 清武 (子会)	萩原 伸咲 (B・S)	渡邊美貴子 (B・S)	

「中高校生リーダー研修会」開催

青少年育成連盟主催「中高校生リーダー研修会」が、2月1日(土)～2月2日(日)八ヶ岳少年自然の家で開催されました。研修会には、育連の中高校生11名と指導者6名の計17名が参加しました。

今回の研修を行うにあたっては、昨年7月に研修委員会を立ち上げ、当日までに全8回の会議を行い、研修内容、スケジュール等を決めていきました。

八ヶ岳少年自然の家の周りには雪が残り、気温もかなり冷え込んでいましたが、研修生たちは、外での運動会や星の観察、室内での交流会を活発に行いました。

参加した研修生からは「企画から運営まで、全て

に携わってきたので充実感があった。」との声が聞かれ、意識のある研修となりました。



「あつまれブラウニー～こどもの国」

あつまれブラウニーが9月22日にこどもの国において開催されました。今年度は「自主的な活動」ということから、スカウト達の2度に亘る話し合いがもたれました。第1回目の話し合いでは、パトロール編成後、今年度どんな活動をしたかをスカウトの中から議長・書記・タイムキーパーを決め話し合いこどもの国に決定。第2回話し合いでは、今回の集会ネーミング決めや参加費の1部をスカウト自身で貯める方法を各団発表し合いました。当日は31団スカウト担当の開会式から始まり全体で行われたゲームしっぽとりや大通りと路地。パトロール毎の自由行動。元気いっぱい体を動かし、おもいっきり遊びました。昼食後はこども動物園で動物達とのふれあい。動物が可愛かった怖かったと色々な感想があ

ガールスカウト48団リーダー 西 恵理子 りました。その後、少々涼しかったのですがソフトクリームを食べ、次回の再会を楽しみに閉会となりました。



もちつき

川崎海洋少年団

2月2日日曜日、天気は曇りながら体感する温度は暖かく感じた日でした。本日の活動は野外炊事の

一環として「もちつき」をしました。お餅は、みぞれ餅、きなこ餅と磯辺巻で食べます。そして豚汁も

作りました。

最初に「もちつき」をするためにやらなくてはならないことは、お湯を沸かしたり、お米を蒸したりするためのかまどの組み立てと材料の下ごしらえです。各班に分かれて準備を開始しました。

協力し手際よく準備も整いお米も蒸しあがり、これからは本当の意味での力を合わせる共同作業です。あつあつに蒸しあがったお米を臼に入れお米の粒を潰すように杵で、よくこねてから交代で力の限りつきました。お餅をつく音が人それぞれでうまく

お餅にあたらぬといひ音が出ません。力を入れてつくとうまくあたらぬ、ねらいを定めてつくとうまく足りぬといひ音がしません。お餅をつくことは簡単そうに見えてなかなか難しいです。いつになったらお餅になるのか心配でしたが、3順位するとうまくお餅になりました。

後は大根おろしに和えたり、きなこをまぶしたりとお好みでお餅をいただきました。きれいに食べ終わり満足しました。

「中原区子ども会連合会50周年記念式典」行われる

副会長 三堀 さき子

中原区子ども会連合会は、川崎市の真ん中に位置し、昭和27年川崎市子ども会連盟中原支部として誕生して以来50年、平成15年2月15日200余名の皆様のご参加を頂き三番奏（祝儀の舞）を皮切りに創立50周年記念式典・祝賀会をたっぷり2時間かけて行ないました。

中原区子ども会連合会の年間行事としましては、春夏秋の少年野球、同ドッジボール、はねつき、写生会、作品展、凧あげ、少年少女の集い、八ヶ岳宿泊研修等を行なっています。また研修を終了した子どもはジュニアリーダーとなり更にシニアリーダーと育って行きます。

この度の式典の司会はシニアリーダーの子が務めました。爽やかな声で、お振り袖姿も美しく会場内の雰囲気盛り上げてくれました。お陰さまで50周

年記念式典並びに祝賀会はいへん和やかなの内に末広がりとすることができました。



16年ぶりに開催『地区B一祭』

日本ボーイスカウト川崎地区野営行事委員長 北條 賢一

3/9（日）エポック中原大ホールにて「B-P祭」が開催されました。

BPとはボーイスカウトの創始者、バーデンパウエル。ボーイスカウトのモットー『そなえよつねに (Be Prepared)』の二つの言葉の頭文字なのです。

当日はおよそ1000名のスカウト・リーダーが集合しました。プログラムは三部構成で、「スカウト運動」ではスカウト博士によるスライド上映。BPがシルエットにて登場する場面もありました。「BPアトラクション」では、VS（高校生）による“アブラハム”で会場全体が盛り上がり、その後のクイズリーダーチャレンジでは団代表指導者21名が

舞台上でスカウト知識を競いました。劇「帰ってきたスカウトレンジャー」ではRS（大学生）のユ-



モラスな演技にみんな釘付けでしたね。90分のステージはあっという間でした。

団代表の企画委員の皆さんは半年の企画期間、大変ご苦勞様でした。

「ジュニアの集い」

ガールスカウト65団リーダー 池原 享子

2月8～9日、小学5年生のスカウト達が集まり、青少年の家で、『つくしんこ』がありました。

『つくしんこ』とは、パトロールリーダーとしての役割や、大切さを知る為の一泊キャンプです。

風邪が流行していたので、欠席のスカウトも何人かおりましたが、2月にしては暖かく、過ごし易かったです。

事前研修では、子供たちがやりたいプログラムを出し合い、それらをまるでパズルでもするかのように、時間という枠に当てはめて行く子供達。今の子

供達の話し合いは、一つの意見がでるとそれについてすぐ賛成か反対か。うーん、やはりデジタル世代なのか、スイッチはONかOFFしかないようです。私達アナログ世代のように、だいたいという曖昧な表現はないのかな？…

8年間保護者として関わってきたガールスカウト活動ですが、昨年からはリーダーという立場。私自身スカウト経験がないので、不安なところはありませんが、まず『自分が楽しまなくては』と考え、これからの活動に参加しようと思っています。

ガキ大将を育てよう

川崎区子ども会連合会会長 岩井 茂

子供は学校、家庭、地域の3場で育てられると言われていますが、それ程単純ではないようです。どの場でも一口では言えない複雑なものがあります。それぞれ互いに機能的にも活動内容にしても多種多様であります。育成連盟にしても4団体で構成されており、その活動内容も指導方法もそれぞれ異なっていて、そこに各団体の存在価値があるわけです。

私達子ども会では遊びを通して子供に約束、協調、助け合い、生命の尊重などを身に付けさせる努力をしています。しかし、時の要請と変化により活動内容が変わってきました。奉仕活動、伝統文化の取り入れなどがその一例でしょう。川崎区子連では、市の要請による春夏の清掃活動などがあげられましょう。それと共に小集団による活動よりも中、大集団による行事的活動が多くなってきてガキ大将的リーダーによる路地裏的活動が少なくなってきました。



—春の多摩川清掃活動—

そこで、これからは子供の自主、自立を重視した活動を積極的に取り入れていくことが大切であると考えています。

編集後記

日本経済の低迷で、景気の回復がいまだに望めない現在、川崎市も補助金の圧縮が行われています。この育連だよりの年2回発行がむずかしくなってきました。何とか遣り繰りして発行したいと思っています。
編集者(花形)

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒211-0053
中原区上小田中6-22-5
エポック中原5階
TEL 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社